

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 12 月 21 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300076
法人名	有限会社メディカルウイル
事業所名	グループホーム輝望の家
所在地	鹿屋市輝北町上百引1919-1 (電話) 099-471-3456
自己評価作成日	H27 11月 12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	H27年11月27日(金)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな緑に囲まれた当施設は、散歩をしていると、施設で利用者様と作っている畑や高隈山がよく見渡せて、利用者様にとって良い気分転換となっております。また、日曜日以外は毎日入浴があり、身体の清潔が保持できるとともに、入浴剤を使用したり、音楽をかけながらの入浴を行っており、利用者様は大変リラックスしております。輝望の家農園では季節に応じた野菜を植えて、畑で収穫した野菜は、献立に取り入れて大変好評です。また、当施設のリビングは74.16㎡と広く、天井は吹きぬけで、開放感のあるリビングとなっております。対面キッチンなので、食事作りの音や匂いを感じることができて、食堂とはまた別に、リビングフロアもあり、ソファで利用者様がくつろげる空間も確保しております。身体機能の維持・向上に関しては、個々に応じたリハビリや、生活リハビリとして、洗濯物を干したり・たたんだり、毎日ラジオ体操やレクリエーションを行い、利用者様が楽しく、安全・安楽に過ごせるよう支援に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームの周囲は静かな田園風景が広がり豊かな自然に包まれている。総合輝北ケアセンターとして同一法人のデイサービス、ミニデイサービス、有料老人ホームと同じ敷地に位置しており、各種の行事や緊急時の対応など、相互に連携・協力できる体制が整った環境にあり、利用者や家族の安心につながっている。
○ホームで開催する消防訓練や敬老会には家族や地域の方々に参加して頂くと共に、地域振興会に参加して清掃活動や地域の祭り、小学校・保育園の運動会等へ積極的に参加している。災害時にはデイサービス利用者の避難場所としてホームを提供したり、中学生の職場体験学習の受入れなど地域との交流は活発である。また、運営推進会議にも地域や行政等から多くの委員の参加があり、ホームの運営や地域の情報等について有意義な意見や情報の交換がなされ日々のサービスに具体的に活かされている。
○管理者は職員に対して日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、積極的にコミュニケーションを図っている。職員同士の連携も良好であり、申し送りや職員会議でもケアに関する意見交換は活発に行われている。利用者の思いや意向、また日常の変化などについては、利用者及び家族とのきめ細かな対話や利用者観察から十分に把握するよう努めている。常により良い支援を実現することに視点を当てた柔軟な取り組みが展開されており、利用者や家族にとって安心を与えるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「地域との絆を大切にする」事を理念に謳い、朝の申し送り時に理念をみんなで唱和し、共有し地域の行事や散歩時には地域の方とコミュニケーションを図れるように配慮しています。	法人の経営理念や社訓をもとに、ホーム理念と職員の行動指針を掲げ、家族や地域とのふれあいを大切にして利用者に寄り添い楽しく過ごせるように日々のケアに取り組んでいる。毎日の申し送り時には理念や挨拶の基本等を唱和して理念の意義の理解に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には積極的に参加しまた、施設の行事にも地域住民の方に呼びかけ参加して頂き地域の方との関わりができるよう取り組んでいます。また、地域の方が作った野菜を購入し地域の方が事業所によく行き来されている。	地域振興会に加入して清掃活動のほか、地域の祭りや敬老運動会・花見等の行事、小学校・保育園の運動会等への参加、中学生の職場体験学習の受入れなど積極的に交流している。近隣の方々の来訪も多く、散歩などの際には人々と挨拶を交わし、また、ホームの消防訓練や敬老会には家族や地域の方々に参加して頂き親しく会話を交わすなど交流の機会が多い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議時に市役所の高齢福祉課の方や包括支援センターの方も交えて地域住民の方に実践報告や現況報告を行い、認知症の理解を深めて頂けるよう努めている。又、地域住民の代表者からの事例を伺い、アドバイスを行い、協力を行うように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者様の状況報告や作成した新聞を活用しての行事内容説明、今後の行事予定等を報告し、参加者様の意見や評価を頂いている。又、地域における状況も伺って意見交換を行い情報の共有と連携を図っている。	会議は家族や利用者、地域住民、民生委員、警察・消防・市役所・地域包括支援センターの職員等関係者が多数参加して定期的開催されている。ホームの現況報告や行事・課題等について活発な意見交換が行われ日々のサービス向上に役立っている。また、ホームの役割や認知症の理解も深めて頂くよう働きかけ、委員からの有益な提案や情報も得られるなど会議が有効に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	1回/2ヶ月の運営推進会議に参加していただき、実情報告やサービスの取り組みなどの報告・意見交換の中で協力関係を築いています。また、市が主催する集団指導に参加したり、不明なことなど電話相談でもいつでも対応して下さっています。	市の職員には運営推進会議やホームの見学に来訪して頂くなど協働関係の構築を図っている。また、市主催の介護保険や介護事業の運営等に関する集団指導にも出席するとともに、訪問や電話・メールでの入退所の手続・認定更新の手続等のほか、利用者の状況やニーズなどの相談に助言・対応して頂くなどの連携を図りサービス向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	グループホーム輝望の家身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束についての勉強会を行い、全職員が理解した上でケアに取り組んでいます。	言葉による行動制限を始めとする身体拘束や高齢者虐待に関する勉強会をホーム内で実施するとともに、関連のマニュアルも整備して職員の理解を深め、ケアへの反映を図っている。職員は利用者個々の状況を十分把握するよう努めると共に、利用者の行動に注意を払い、連携して見守りを行っている。近所の方々や関連法人の職員にも見守りや声かけをしてもらえるような関係を築いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加したり、研修資料を参考にして勉強会を行い、職員全員が学ぶ機会を設けている。勉強会で事例を確認し虐待の見逃しがないように日頃より言葉遣いや対応などに注意を払い防止に努めている。虐待防止マニュアルを作成し、事務所に置きいつでも目を通せるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護の研修に参加し、それを元に皆で勉強会を行い、全職員で理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や解約時は、ご家族や本人様に十分な説明を行い、又、利用者様や家族等の不安や疑問点について伺い、親身な対応を心がけています。また、契約後も不明な点はいつでも相談できるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に苦情箱を設置し、いつでも気兼ねせずに、苦情、相談、意見が言えるようにしている。苦情相談があった際には、ミーティングや職員会議等で全職員に周知し運営に反映させている。また、1回/年の外部評価ではご家族へアンケート調査を実施しており、外部へも言える機会がある。	利用者には日常頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは来所時や家族会・行事の際に話しやすい雰囲気作りに努め、多くの意見を頂いている。苦情箱の設置や家族アンケートも実施しており、ミーティングや職員会議・申し送りノートを通じて全職員が共有を図り、サービスに具体的に反映できるように努めている。ご家族にも電話やホームの新聞で適切に連絡している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回の職員会議及びセンター会議の際に、職員の意見に耳を傾け、全体で話合い、運営に反映させている。また、管理者は毎日のミーティングに参加し、場合によっては臨時の職員会も設けている。また、随時職員の相談には応じるように努めている。	管理者は、日常のミーティングでの対話や職員会議・センター会議の他に、職員と年2回の定期個別面談を実施して意見や提案を聴取している。また、日常的に話しやすい雰囲気作りに努めていつでも相談に応じられるようにしている。意見や提案は業務改善や利用者へのサービス向上の実現に具体的に反映できるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は勤務表を把握し、人事考課を通じて目標や効果を行い昇給や賞与など査定し、やりがいを持って働けるよう職場環境や労働条件などの整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>人事考課を通じて一人ひとりの実際と力量を把握し、研修会や勉強会へも積極的に参加するよう呼びかけ、資料などの配布も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の管理者会議やプリセプター会議を実施し、同業者と意見交換や訪問できる機会を設け、サービスの質の向上に向けて取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で、本人様の話を傾聴し本人が困っていること、不安なこと、要望に対してのサービス内容を一緒に考えたり、提案したりして納得して頂き、安心して生活が送れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階でご家族の困り事や不安なこと、要望を傾聴し、それに対応するサービス内容を一緒に考えたり、提案したりして納得されたら、体験をしていただいたり、現場をみていただき安心していただけるように努めている。いつでも相談できる雰囲気づくりにも努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する段階で、入所時のアセスメントやサマリー等で本人の状態把握を行い、本人と家族の意向を傾聴し、又、言動をよく観察し、ニーズを把握した上で支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と職員が一緒に食事をしたり、炊事・洗濯などの協働作業を一緒に行うことで家庭的な雰囲気の中で、生活できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月発行の事業所新聞を通じて、利用者様の状況報告を行ったり、面会時や電話などを通じて語らせる環境を作り本人と家族の絆を大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散髪や病院など今まで通っていた馴染みの場所へ行ける支援や、友人などの訪問の際にはゆっくり語らせるような環境作りに努めています。	利用者の家族や知人などの来所時にはゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、関連施設を利用する方々との交流や電話・手紙の取り次ぎの支援も行っている。本人が希望する墓参りや馴染みの美容院・商店、近隣の散歩やドライブ、地域の行事や花見などへも可能な限り同行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性や、性格等を踏まえて配置などを工夫し、孤立せずに、共に支えあえるような環境づくりに取り組んでいます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院でサービス利用が終了しても、定期的に面会行ったり、ご家族様とも連絡をとり、経過フォローや相談・支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、常に本人の意向を聞いて尊重し、生活援助・支援に努めています。	職員は利用者の日頃の表情や言動、また家族からの情報を基に、思いや意向を酌み取るよう努力している。これらの情報は介護記録やケアプラン、日々の申し送り等で共有を図り、必要な対応を検討し、利用者本人の意向を尊重した支援に結びつくように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族、知人等から話を聞いたり、今まで利用されていたサービス事業所からの情報提供等頂き把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の言動や過ごし方、心身の状況等観察を行い、気づきがあれば、記録に残すようにし、現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとのモニタリングや日々の状況変化が見られた時、本人、家族、職員等で即座に小会議を開き、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成しています。	本人・家族から希望や意向を聞き、主治医や看護師・職員からの意見を反映した詳細な介護計画を作成している。また、3ヶ月毎にケアの経過を評価し、状態の変化に応じて話し合い、職員の意見やアイデア・気づきも反映させながら、利用者がよりよく暮らすために適切に見直しを行い修正している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、気づき等を個別記録に記入し、朝礼や職員会等で意見を出し合い、実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族の状況、その時々にもまれる様々なニーズに対応できる柔軟な支援に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進委員会を通して消防署、駐在所、民生委員、地域の方々と意見交換を行いサービスの向上に努め、また、防災訓練時など地域の方に参加協力をいただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所後もかかりつけ医の受診の支援を行い、診察時など状況報告を行い、適切な医療が受けられるように支援を行っています。	利用者個々の利用前の受診経過を把握し、本人・家族が希望する医療機関を受診できるように支援している。受診は主にホームで支援し、医師や家族との意見交換は十分に行われている。また、受診の結果は介護記録や支援経過記録に記載し、職員で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は日常生活の中で表情・身体において気付いた変化を看護職員への報告を行い早期発見、早期受診できるよう努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者様が入院した際に生活サマリーを作成し病院側への情報提供を行っています。入院中担当医師・担当看護師・理学療法士・ソーシャルワーカーより病状、身体状況の説明を受け退院時御利用者様が安心して生活出来るよう受け入れ準備、フォローを行なっている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合の方針は入所時に本人様やご家族への説明を行っています。終末期になった場合は再度ご家族、主治医と話し合い方針を確認し共有して支援を行っています。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、「重度化した場合の対応に係る指針」で入居時に利用者と家族に十分に説明を行っている。状況の変化の都度詳しく説明して意向を確認し、希望に沿った対応の支援を、家族・医師と連携して行う体制を築いている。また、看護職員による介護職員への必要な対応の指導も行われている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回普通救命講習を受け対応を学んでいます。又、講習や勉強会を実施し急変や事故発生時に備えています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合訓練は夜間、日中を想定し実施し、1回は消防の方にも参加していただき、指導・助言をいただいています。また、地域住民の方々も参加して頂き実施しています。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署と連携して避難訓練・消火訓練を実施し、結果は毎回評価・反省まで行っている。これらの訓練は地域の住民や併設するケアセンターと一緒にしている。また、地域や併設の関連施設にも自動通報できる装置やスプリンクラーなども整備され、食料や飲料水・備品等の準備も十分な状況である。救命講習をはじめとした研修の充実及び関連するマニュアルも整備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳・尊重をモットーに、声のかけ方に気を配り、又、援助の際にはこれから行動することの説明と同意を得て対応しています。	接遇研修等の充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。関連するマニュアルも整備され、半年に1回は職員はチェック表で自身のケアを振り返り、日々のケアに確実に反映できるようにしている。また、利用者の各種の記録保管や居室の保護にも徹底した配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者がいつでも自分の思いや希望が表せるような雰囲気作りを心がけ、又、入浴時や外出時、本人の着たい服や使いたい物等自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の思いや一人ひとりのペースを大切に、その人らしく、元気に笑顔で暮せるように、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日着る服の希望を聞いて、選択できるような支援を行っています。また、散髪なども希望に応じて対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	随時嗜好や希望を聞いて、食事メニューに取り入れて、また、輝望の家農園で取れた野菜等も活用したり野菜の皮むきや食後の後片付けなども一緒に行っています。	日常会話で把握した利用者の好みを、献立や味付け、調理法に反映させて楽しみながら食事できるように工夫している。また、菜園での野菜の収穫や食卓の準備・後片付けなど、利用者が一緒にできることを支援している。季節の行事食や誕生会等の特別メニュー、弁当持参の外出、庭でのお茶会や手作りおやつなどの工夫など、利用者の楽しみに繋がるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量のチェックを行い、1日を通じて必要な栄養と水分の確保が出来るよう支援をしている。食欲が無い時には嗜好を聞いてその時召し上がる事ができそうな代替食の提供を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを必ず行い、必要に応じて入れ歯専用剤につけて、清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りトイレで排泄出来るように、おむつの選択（夜は紙おむつ使用だが、昼間はリハビリパンツ使用等）を利用者様の状態に応じて検討し、トイレで排泄できるよう支援しています。排泄パターンも把握し、随時声かけや誘導を促しています。	利用者の見守りや排泄チェック表を活用し利用者個々のリズムを把握している。羞恥心や不安を軽減するために誘導や声掛けを工夫し、排泄の自立のための支援を行っている。職員はミーティング等で利用者個々に合った取り組みの方針を十分に話し合い支援に反映するように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事やおやつで乳製品や食物繊維の多い食材を取り入れたり、水分補給も小まめにとっていたり、工夫しています。また、毎日体操や散歩も取り入れ便秘予防にも努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週6日、入浴の支援を行っているが、利用者様に声をかけて、希望を伺い入るタイミングを計っています。また、リラックスして気持ちよく入浴をして頂けるように音楽をかけたり、入浴剤を用いて支援しています。	基本的には毎日入浴が可能であり、利用者の健康状態や体調を観察すると共に安全面に十分配慮し、声かけや誘導も工夫しながら本人の好みや習慣に沿って入浴が楽しめるように支援を行っている。会話を楽しみながらゆったり入って頂けるように音楽や入浴剤を活用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様一人ひとりの生活習慣や自分のペースで休憩したり、安心して気持ちよく眠れるように、声かけや支援を行い、室温・温度・採光、寝具調整を適宜行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護職を中心に、一人ひとりの疾患や、薬局やクリニックから書面としていただいている薬の作用、副作用について把握し、名前、日付け、曜日を読み上げ、服薬の支援を行っている。体調の変化が見られた際には看護師に報告しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や楽しみごと等話を伺い、その人の持っている力を生かした役割（野菜の皮むき、洗濯物干し・たたみ）塗り絵や折り紙での作品作り等、生きがい作りの支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの希望を聞いて買い物をしたり、墓参りに行ったり、散歩などできるよう支援しています。野外活動ではご家族とも協働して外出しています。</p>	<p>利用者の希望は日常会話を通じて把握に努め、時にはご家族や地域の方々の協力も仰いで、地域の行事やイベント、季節の花見や運動会、外食など季節に合わせた外出を企画している。日常的には、広いウッドデッキでの日光浴や茶話会、また個別に散歩や買物・ドライブ・墓参り等、外出が楽しみになるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり使えるように外出や買い物等は職員が立会い、見守りや声かけ等支援を行っています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じて連絡をとりたい方とやりとりができるよう電話援助など支援を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は、常に清潔にし、快適な環境を保つように空調の調節も行っています。また、玄関やフロアには、季節の花を飾ったり、利用者様と作ったその時期に合わせた壁面飾りなど飾って季節間を感じてもらっています。	園庭は広くウッドデッキがあり、お茶のみや日光浴を楽しめる。天窗のあるリビングは全体に木目調で広く明るく、利用者が家庭的な雰囲気の中で過ごせるようにイスやテーブルなどの配置にも配慮がなされている。玄関やフロアには季節の花が飾られ、周囲の壁には行事の写真や利用者作成の貼り絵などが掲示され居心地よく過ごせるように工夫されている。常に清潔であるように、また、空調には細かい配慮が感じられ自由に気持ちよく過ごせる環境である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間のフロアにテーブルとソファや椅子を配置し、好きな時間にのんびり・ゆったり過ごせるように工夫しています。また、気の合った利用者同士で楽しく過ごせるようにソファの位置も自由に移動出来るように支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人様、ご家族と相談して、利用者様が今まで使っていた家具や好みの物を置き、配置も、利用者様が使いやすいようにし居心地良く過ごせるようにしています。	居室の窓は広く日当たりも良い環境であり、ホームが準備したエアコンやベッドが備えられている。本人や家族の希望に合わせて使い慣れた家具や身の回りの物・写真などを自由に持ち込んで頂き、その人らしく落ち着いて暮らせるように様々な希望にも可能な限り柔軟に対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様一人ひとりが安全かつ自立した生活が送れるように、施設内はすべてバリアフリーであり、自立した生活が送れるように物の配置等工夫しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない